

【現場写真】

(機器設置状況および焼損箇所)



(応急措置状況)



⇒当該コンロの中間ガス栓を閉止し、使用禁止措置を実施

(復旧状況)



⇒当該コンロを取り外し、中間ガス栓側接続箇所のプラグ止め措置を実施

(6月19日：消防との合同調査時の状況)

- ・当該コンロ天板を外し、真上から確認した状態



- ・当該コンロ正面から確認した状態



⇒機器内部漏洩検査を実施した結果、微量の圧力降下を確認したが焼損の影響を受けており漏洩箇所の特定が出来ず。ガス漏洩に起因する焼損であるが真因は不明。

- ・当該コンロ機器内部の状態



⇒多量の煮こぼれ等の影響により点火し難い状態で繰り返し点火操作をしたために、機器内部の空気取り入れ口から未燃ガスが流出。未燃ガスに点火時の炎が引火して焼損した可能性も考えられるが、真因は不明（製造事業者談）